



ひ た よ た らん

定例会（第4回）	2
臨時会（第2回）	4
一般質問 ここが聞きたい（4人）	6
委員会活動報告	8
議員研修会報告	9
町のこの人あの人	10

働くお母さんの強い味方

安田 政俊 氏



四季の里みかん祭りの一風景

介護や子育て支援に関する 諸条例を可決

平成26年第4回定例会は、11月18日・19日の会期2日で開催されました。

2件の新規条例をはじめ5会計の補正予算などの審議を行い、全てを原案のとおり可決いたしました。

また一般質問は、4議員が登壇し、町政全般にわたり考えを質しました。

条例

大井町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例
(新規) (賛成全員)

*介護予防法の改正に伴い、国の法律や政省令で全国一律に定められていた介護予防支援事業の人員や運営、支援の方法についての基準を町で定めるもの。

地域の自主性を高めるのが提案理由だが、具体的には何があるのか。答 特に山間地域のような困った特色はない。現時点での状況で介護予防を推進している。

条例を制定することにより関わる事業所はあるのか。

当町の指定を受けて地域包括支援センターが実施しているが、今後当センターから委託を受け事業者が出ることも考えられる。

サービス提供困難時に、最初の事業者が最後まで責任をもって対応するのか。

利用者が他町等に転居した場合、地域包括支援センターを経てから次の事業者の情報提供をし、ケアマネ業務等を委任する。

大井町地域包括支援センターの職員に係る基準及

び当該職員の員数等を定める条例
(新規) (賛成全員)

*介護予防法の改正に伴い、国の法律や政省令で全国一律に定められていた地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等についての基準を町で定めるもの。

地域包括支援センターは町直営であるため運営協議会が必要ないのでは。

運営協議会については町の条例で定めている。10名の委員で構成され地域包括支援センターの運営に関して意見をもらっている。



大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*平成26年度人事院勧告に基づき改定される国家公務員の給与を勘案して、職員の給与を改正する。

大井町は人事院勧告の0.3%アップを守っているのか。

勧告に即しているが、本町の給料表に当てはめると0.34%のアップになる。

4月1日への遡及について町長はどう考えているか。

人事院勧告に準じているし、人事院勧告を尊重している。

影響額が1030万円余とのことだが、その内訳は。

給与225万円余、諸手当808万円余。

大井町児童コミュニケーションクラブ条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*児童福祉法の一部改正により、放課後児童健全育成事業の対象児童が小学校6年生までに拡大されたため、所要の改正を行なうもの。

大井町保育所条例の一部を改正する条例
(賛成12反対1)

*子ども・子育て支援法の制定に伴い、保育の必要性の認定に関する事項等について、子ども・子育て支援法施行規則で定められたため、所要の改正を行うもの。

一か月の労働時間を64時間にする理由は。

現行80時間の規定から、国から示された上限の時間まで基準を下げた。

アンケートや要望は取ったのか。
子ども・子育て会議に諮っている。

大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める法令の一部改正に伴い、所要の改正を行なう。

補正予算

一般会計

(第4号) (賛成全員)

*歳入は町民法人税が1億2千万円の増。

歳出の主な項目は職員給与等168万円、町議補選に係る経費に177万円、赤田地区510号線にかかる道路維持費に900万をそれぞれ増額計上。

法人町民税1億2千万円増は大手1社か。
4社程度ある。決算と予定分を含む。

円安の進行や株価上昇の利益だと思われるが、実態経済の状況は。

企業へのアンケートによると、予算策定時にはマイナスだとの話もあり平成25年度をベースにマイナスにみていた。見越した以上の法人税割が増えた。

生涯学習センターのスピーカーの機能低下の程度は。修理する必要があるのか。

今年9月の点検で3台中2台の中低音機能が低下しており、急速に悪化している。

工事はいつ計画しているのか。
納品できれば早急にやりたい。

特別会計

国民健康保険

(第2号) (賛成全員)

*歳入は繰入金が増。歳出は人事異動等による給与費の増。

町村情報システム共同事業費の法改正は何か。

保険税の軽減措置として7割、5割、2割の法改正による。

下水道事業

(第3号) (賛成全員)

*歳出の給与費の減及び予備費の増。

介護保険

(第2号) (賛成全員)

*歳入は繰入金が増。歳出は給与費の減及び地域支援事業費の増。

企業会計

水道事業

(第1号) (賛成全員)

*人事異動等による給与費の増減。
減価償却費1701万円増。

減価償却費について当初予算との差額が多いのは。

システム改修を行ったがその際に、構築物の管に対する減価償却費の拾いもれを計上した。

契約

工事請負契約の変更(大

井町湘光中学校大規模改修工事)
(賛成全員)

*工事内容の変更に伴い契約金額および契約内容を変更する。契約金額は原契約金額(1億8252万円)に金831万6千円を加える。

追加工事があっても不思議でないが、第一期工事の教訓が生かされていないのではないか。

目視による見積額であったが実際に打音検査をしたところ目に見えない場所が見つかった。

当初から打音検査をすべきだったのでは。

設計時に足場を組んでの打音検査は無理だった。

工事は始まっているのか。
工期がらみで工事には着手した。



否決されたらどうするつもりか。9月定例会に補正を出すべきでは。
9月補正には間に合わなかった。

議決してないのに実施するのは議会軽視だ。ルールを守るべきでは。
中学校の教育環境を重視したい。今後は対応策を検討したい。

給食センターの時間も同じことがあり、今回も起こった。議会の姿勢も問われる問題だが、見解は。
今後は着工する前に十分に話し合いをしていく。

臨時会〔第2回〕 間宮町長が所信表明

清水・諸星 両新議員が初議会

平成26年12月24日、臨時会が招集され、専決処分
の承認外1件の審議等
を行いました。
また、間宮町長は、5期
目の町政を担うにあた
り、その所信を表明され
ました。
当日は、町議補選で当
選された清水、諸星両議
員は初の議会に臨み、そ
れぞれ教育福祉、企画経
済常任委員会に所属する
ことが決まりました。

審議した議案と審議結果 (平成26年第4回定例会)

○は賛成 ×は反対
清水議長は、採決に加わりません。

議案番号	議案名	議員名(議席順)と審議結果											審議結果	
		伊藤奈穂子	曾根田徹	神保京子	細田勝治	伊田徳之	瀬戸和雄	牧野一仁	北村正夫	小田眞一	片野昭	石井勲		鈴木武夫
40	大井町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	大井町地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	大井町児童コミュニティクラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	大井町保育所条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	26年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	26年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	26年度下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	26年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	26年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	工事請負契約の変更(湘光中学校大規模改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

審議した議案と審議結果 (平成26年第2回定例会)

○は賛成 ×は反対
清水豊司議長は、採決に加わりません。

議案番号	議案名	議員名(議席順)と審議結果											審議結果	
		清水亜樹	諸星光浩	伊藤奈穂子	曾根田徹	神保京子	細田勝治	伊田徳之	瀬戸和雄	北村正夫	小田眞一	片野昭		石井勲
52	専決処分の承認(一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

あいさつ



諸星 光浩 議員

私は、昭和35年に大井町で生れ大井町で育ち、30年以上通勤しながら都心でIT関連の仕事をしてきました。
社会で経験したことを活かし、かつ、青少年指導員活動で培った人のふれあいがある町づくり、そして、町民目線で活動できる議員を目指します。
是非、皆様の声をお聞かせください。



清水 亜樹 議員

私は、昭和47年生まれの42歳、現在、妻と小学校生、保育園児の娘と暮らしています。今までの消防団活動や地域活動の経験を活かしていきたい一番は「皆様の声を大切」にして住みやすい町づくりに取り組んでいきたいと考えております。
皆様のために精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

専決処分の承認 (賛成全員)

*12月14日執行の衆議院議員選挙経費について、一般会計補正予算の議決を求める議会を開く時間的余裕がなく、専決処分を行ったため、その承認を求めるもの。
歳入・歳出それぞれ96万5千円の増

■ 期日前投票は、町政選挙、国政選挙が5日間重複したが、立会人等に係る経費の出所は、
☑ 国政選挙の経費で執行する。
南足柄市外四ヶ市町組合議会議員の選出。
(賛成全員)

*平成27年2月6日をもって任期満了となるため後任の選出。
石井 道展 氏
(西大井在住)

議会報告会

お知らせ

今年は5月に次の日程で開催いたします。ご予約ください。

期 日	会 場	内 容 等
5月19日(火)	JA西湘大井支店	・27年度予算の審査経過報告 ・委員会活動報告 ・意見交換【テーマ：議会に望むこと】 いずれの会場も午後7時から
5月20日(水)	そうわ会館	
5月21日(木)	ふれあい館	
5月22日(金)	生涯学習センター	

ステアード・ストレート講習 を行う考えは

答 効果が高いと考え前向きに検討する

伊藤 奈穂子 議員



警察庁の資料によると自転車利用者に対し自転車のルールやマナーの徹底に努めるとある。大井町においては自転車事故は減少傾向にあるが自転車を安全に利用し事故の無い町にするための取り組みは。

防犯や回覧等で周知をしていく。また、毎月一回、防犯の広報のパトロールを行っているが、併せて自転車のルールやマナーについての広報も実施していきたい。
園児、小学生、中学生と年代ごとにグレードアップした教育が大事であると思う。そこで、中学生を対象にステアード・ストレート講習を行う考えは。

突然発生する路面の陥没は人命にかかわる重大事故につながる危険性がある。安全で安心な町づくりのために路面下の空洞調査と対策について今後の取り組みは。
市町村道路メンテナンス部会において路面下空洞調査について研究を進め検討結果に基づき対応していく。
ステアード・ストリートスタントマンによる交通事故の現場を再現し疑似体験することにより交通ルールやマナーを学ぶ講習のこと



臨場感のある講習のようす

就学援助の要保護基準の拡充を 地域の実績に応じ基準を定めている

曾根田 徹 議員



「国の生活保護基準引下げや消費税増税の問題」生活保護費削減は、受給世帯及び就学援助を受けている子育て世代に深刻な影響を及ぼす。要保護基準を生活保護基準に合わせ引き下げる自治体の動きもあるが、本町の考えは。
平成25年8月から生活扶助基準が見直されているが、見直しの影響が生じないよう国から要請があった。今後も国の考え方に合わせて考えていく。
本町の要保護認定基準は生活保護費の1.3倍



全ての子に行き届いた教育を

以下の世帯としている。今後の援助基準を1.5倍以下に引上げる考えは。
近隣の市町村及び県内の町村部では、生活保護基準の1.3倍以下が多数であるが地域の均衡も鑑み、現段階では1.5倍以下への引き上げは考えていない。
生活保護費の1.3倍以下の根拠は何か。
国庫補助教育給付課長 国庫補助が打ち切られた関係で、
全国の市町村で約1.3倍から1.5倍を基準に市町村単独事業とし継続している。国の示す要保護への補助対象は12品目であるが、本町は4品目が補助されているに過ぎない。拡充する考えは。
本制度は貧困状態になった場合には援助を受けることができる仕組みで、妥当な金額を支給できていると判断をしている。

過疎地域対策補助金の交付は適正か

答 要綱に従い7団体へ適正に交付した

牧野 一仁 議員



急遽設立された「そうわ観光研究会」とは何を行う団体か。
地域振興課長 モニターツアーを開催する組織で補助金の交付を機会に組織された。

この研究会の代表者メンバーは。
個人の農業者5名、農業法人1法人、地域の農業活動を行っている1団体。
代表者は選出してない。
税金を使ってモニターツアーを実施した効果はあったのか。
全てが顕著な効果を得たとは言えない。
「そうわそほの会」に200万円が交付されているが。
耕作面積を拡大していくには効率アップが必要のため、機械化を推進すべきであり、それらの機器を購入するために補助金を交付した。
会員として、町長歴代担当課長3名、現副議長が名前を連ねているが、補助金を交付する側と、受ける側に同じ人間がいる事は不自然ではないか。
同会には立ち上げ当初から参加しているが、



天日乾燥される稲 (山田地区)

総会や活動には出席していないので問題ない。
この会は年間100万円以上の売り上げがあり作業・販売報酬を約50万円も支払っているから自立が可能と判断出来る。交付金は不要ではないか。
同会は支出も多く、効率的な作業には機械化推進の必要性がある。

相和地区外園児の募集数は 各学年の総数は10名前後の予定

石井 勲 議員



相和幼稚園登園のひとこま

制度改正による町教育行政の現状と将来は。
町では、従来から町長と教育委員との懇談会等を通して意見交換をしている。したがって新しく設置される総合教育会議により、町長と教育委員との円滑な意思疎通と相互連携で、地域の意見が更に反映されると理解している。
学校教育目標はどのような審議経過で定められ、検証されているか。
教育長 教育基本法・学校教育法を前提に学習指導要領に示されたもの、

更に教育委員会の規則や方針、地域の実態に即したものが条件である。検証方法は各校違いはあるが、PDCAサイクルに加え各調査をリサーチ、データを評価し、成果を確かめて学校づくりのビジョンを描いている。
全国学力学習状況調査の結果報告公表は。
教育委員会では、設置管理する学校について其々の判断で公表でき
相和幼稚園への地区外募集園児数は。
将来的に小学校に繋がるので校長とも調整し、各学年の総数を10名前後と想定している。

3 常任委員会

活動方針を決定

企画経済・教育福祉・広報の3常任委員会は、26年第3回定例会での編成替え後、委員会を開催し向こう2年間の活動方針を発表した。

企画経済
常任委員会

当委員会は、町の事業について効果検証等を行う。そのために町の課題点と今後の町づくりの方向性について調査研究を行う。そして、町の課題と問題について町民の意見をとり入れての政策を立案する。

教育福祉
常任委員会

① 町の教育行政についての調査研究。
町立各幼・小・中学校と懇談の機会を設け、実態を調査していく。特に相和の小規模特認校化については、ICT教育の導入など新規の取り組みについて町の方向性を確認していく。
② 子ども議会についての調査研究。
子ども議会については現状小学生を対象としているが近隣自治体では中学生を対象としているところも多くある。本委員会では子ども議会の良いあり方を調査研究していく。



福祉分野について

町の福祉施策についての調査研究。
本町の福祉施策のあり方を検討していくという観点から各団体との接点を設ける中で本町に未整備になっている制度や条例について町側へ提言を行なっていく。
当面の活動は、去る6月議会にて手話言語法の制定を求める意見書の提出を可決した流れを受け、聴覚障害者を取り巻く本町の福祉施策を調査研究していく。

広報常任委員会

議会だよりの見直し

これまで紙面の見やすさ、分かりやすさを追求し、デザインの改良や文字サイズの変更、文字数や段組を変更するなど工夫を行ってきたが、町民にとって十分な内容になっていないかの検証が十分であった。以上の反省から町民からの意見を収集する場を設け、より良い紙面づくりに反映させていく。

また、紙面上のコンテンツを見直し、新規の項目を加えることで議会だよりのボリュームを一定に保つと共に、より町民ニーズに合う紙面づくりを研究していく。

ホームページの見直し

掲載内容の拡充については一般質問の詳細や各委員会活動等を新規に掲載したが、未だ充分ではないと考える。議案の審議過程に代表される町民が知りたいと思われる情報について新規に掲載していくことを検討する。

また、町ホームページの一部として位置づけられている議会ホームページの更新を自主的に行なうための検討を行なっていく。

議会報告会の開催について

議会報告会については25年・26年と開催場所を4カ所、同会場にて予算審議の過程を報告したが内容のマンネリズムが指摘される状況にある。今後、広報常任委員会では会の名称・形態・内容について精査し、町民にとってより良い報告会のあり方を検討していく。



演題

地方議会改革の現状と
求められる行政のあり方

講師 早稲田大学大学院公共経営研究科 教授 北川 正恭 氏



11月20日愛川町文化会館にて、県町村議会議長会主催の自治功労者表彰式・町村議会議員研修会が行われた。研修では北川正恭氏からの講演を受けた。

北川氏は、「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言された

方である。最初に、議会とは、議員とはこんなものだという先入観・思い込みがあるから議会改革が進まないのだと言われた。それから、「あなたにもできる議会改革自己診断シート」なるものを示され、やってみるよう言われたが、設問にはほとんどの議員が満点は取れなかった。内容は議会の情報公開についてインターネットで速やかに公開されているかなど、現在の世の中に

対応するためのノウハウが課題されている。

以前は、学校で教えられない事を家庭で教えていたが、今では子供が親にパソコン等を教える時代であるし、来年の地方統一選挙からネットになると言われる。

地方分権になり、自治行政権・自治財政権・自治立法権が地方議員にはあるのだから、住民の代表機関として立ち位置を変えて考えていくべきだと話された。

何をしているか分からない議会ではなく、議員提案や立法機能を持っているのが議会であるから、議会基本条例を見直し実質的な条例を作る。民意の反映が仕事である。自治会の中から出て来た声に、町が動き、県が動き国が動いて行く。そのような議会改革を進めていくことを期待している」と話しを結ばれた。

(神保京子)

演題

「神奈川県立病院機構について」

講師 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 副理事長 菅家 龍一 氏

平成26年12月11日大井町において、足柄上郡町村議会議員研修会が行われた。

最初に、県立6病院を一括し、平成22年4月1日をもって地方独立行政法人に移行した理由は、平成17年当時は、定数を減らせと国からの指

導があったが、医者を増やして欲しいと要望したら、技術職員を減らせばいいと回答された。病院の在り方として考えたら、県の組織を離れることにより、地方自治制度に起因する制度的、実態的な制約から離れ、柔軟で弾力的な経営をすることで、安定的な経営基盤を確保するとしている。

中期目標及び中期計画第1期は、平成22年4月から平成27年3月までの5年間で、高度・専門医療、救急医療、災害時医療、感染症医療、地域特性、医療従事者の人材育成等の基本的な役割・機能を引き続き担い、提供

することを目標としている。足柄上病院においては、一般病院での質の高い医療提供、高齢者に対する総合的な医療を実施する地域の中核的医療機関として、ICU設置や救急医療や産科医療を具体的な取組み・目標に掲げていると語られた。

(曾根田 徹)



● 町のこの人あの人 ●

働くお母さんの強い味方

地域の方で子育て支援



上大井 安田 政俊 氏

小中学生の放課後の生活がより豊かで楽しいものになるよう、学びや遊びの場を提供する上大井青少年育成会の活動「水曜コミュニティ」をご存じですか？今回はコーディネーターを務める上大井在住、青少年育成会副会長の安田政俊さんを紹介する。

▼地域活動への取り組み
安田さんは昭和25年宮城県生まれ。特別支援教育教諭として神奈川県に採用され、昭和53年に大井町に移り住み、今に至る。「初めは地域のこと

はよく分らなかつたが、地元のソフトボールチームの誘いを受け、地域の方々との交流が深まったことをきっかけに地域の活動に参加するようになった」と当時を振り返る。その後は町子連役員、体育推進委員を務め、14年からは青少年育成会会長を10年務め上げた。そして23年より冒頭紹介した水曜コミュニティを主催している。



▼子育て支援、水曜コミュニティのこと。
「子どもたちが安全に、安心して友達と遊べる

(過ごせる)居場所を提供したい。そして、子どもたちを地域で見守っていききたい。」と活動の動機を語る安田さん。時間は水曜日の15時から18時。内容は、最初の30分はまなびタイムと称し、宿題や各自の課題に取り組み。その後の30分位は、話し合いの進め方に気をつけさせながら、子どもたちで遊びの内容、ルールなどを決定して遊ぶ。自治会館内という限られたスペースでの遊びだが、決してインドアゲームばかりではない。綿の入ったドッジボールや風船パレーボール、ミニ卓球など、体を動かす遊び

は子どもたちに大好評だ。その後は、自由遊び、掃除、終わりのあいさつと続く。もちろん保護者との連携も大事にしている。参加児童の家庭には、あらかじめアレルギーの有無や緊急連絡先などの記載をお願いして、不測の事態に備えている。

▼今後の抱負
「国の施策と相まって変わっていく今後の町の放課後支援の在り方には注視をしている。公の制度が充実していくことは望ましいが、時間がかかるとは思う。地域の実情に即した見守りを、じっくりと続けていきたい」とその抱負を謙虚に、しかし意思の強い眼差しで語ってくれた。なお、児童の参加はもとより、ボランティアも随時募集中である。ご興味のある方はお気軽に足を運んで頂きたい。

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しください

3月5日(木) 午前9時 第1回定例会開催

編集後記

▼昨年末は20年振りとなる町長選挙、そして2名を選挙町議補選が行われ、行政も議会も共に新たな体制でのスタートを切りました。

▼ともすれば十年一日の観を持たれてしまう議会活動ですが、議員間では活発な議論が交わされ委員会活動を中心に町民福祉の向上に寄与する活動を充実させていこう、という機運が高まっています。

▼広報常任委員会ではそのような取り組みの一つとして議会報告会を毎年実施しています。今年はこれまで以上に参加してくれた町民の方々が、来て良かった、と思える会に出来るよう準備を進めております。多くの方の参加をお待ちしております。

伊田徳之